

# 2024 WTCS 横浜大会

## オペレーションマニュアル

### 【エイジ・スイム】

【TO/テクニカル・オフィシャル用】

#### 第1.0版

作成者	富永 充昭
作成日	2024年4月9日
最終更新日	2024年5月6日

#### 改版履歴

版数	作成日	改版内容	改版者
第1.0版	2024年5月6日	初版作成	富永

#### 連絡先 (エイジレース前日・当日)

大会期間中の遅刻・欠席の連絡は下記へ必ずお願いします。

KnTU 本部 (杉浦 真由美) : 070-3236-2277

CTO (富永充昭) : 080-3366-3338

スイムチーム LINE グループを作成するので、富永 LINE-QR

右記富永 LINEQR コードへ申請をお願いします (5月 11日打合せ迄)

他のポジションで LINE 情報が必要な方は事前にご連携・ご宣言ください。



#### 目次

1. 活動概要
2. 競技カテゴリー
3. コースマップ
4. TO配置
5. 全体の業務
6. タイムテーブル
7. スイム業務のルール
8. 業務詳細・留意事項
9. 備品リスト
10. サイネージ

## 1. 活動概要

## 2024年5月10日（金）大会前日（エリートレース前日）

時間	活動内容	場所	備考
15:30	レスキュー講習	山下公園氷川丸バルコニー付近	可能な方は参加をお願いします（特に安全管理担当の方）・引上げ場所を確認
17:30	TO説明会	横浜人形の家 赤い靴劇場	<a href="https://www.doll-museum.jp/">https://www.doll-museum.jp/</a> 16:30 受付 エリートスイム担当にコーン/バー調整確認

## 2024年5月11日（土）エイジレース前日（エリートレース当日）

時間	活動内容	場所	備考
15:00-16:30	備品確認	KnTU テント	<b>翌日に必要な物をまとめます</b>
16:30-17:00	スイム TO ミーティング	山下公園スイムエリア (ポンツーン付近)	エリート終了後集合ください。LINE 連絡をください

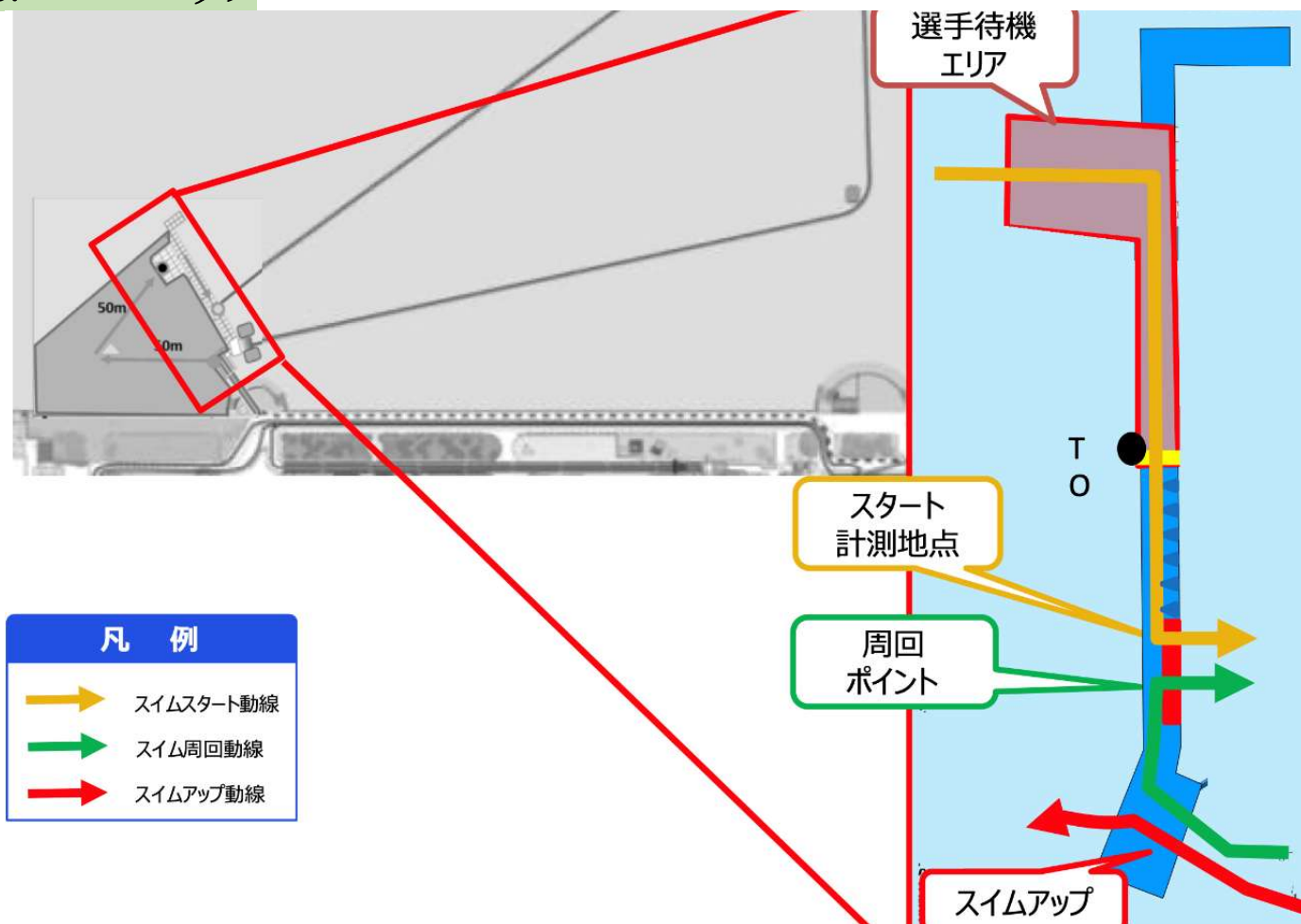
## 2024年5月12日（日）エイジレース当日

時間	活動内容	場所	備考
5:30	スイム TO 集合	山下公園 KnTU テント	無線はスイム C がまとめて取得
5:40~	受付け	山下公園スイムエリア	無線はスイム C がまとめて受付 全体 MTG
5:45-5:50	スイム TO ブリーフィング	山下公園スイムエリア	スイムエリアへ移動
5:50-6:45	スイムエリア設営・準備	山下公園スイムエリア	各ポジションの SCTO を中心に、設営・準備をお願いします
6:45	スイムチェックイン開始	山下公園スイムエリア	
7:15/7:20	スイム競技スタート	山下公園スイムエリア	<b>エイジパラ TRI-6/TRI-1~5</b>
7:15-12:00	↑	山下公園スイムエリア	エイジ
12:00	スイム競技終了	山下公園スイムエリア	
12:00-12:30	スイムエリア片付け	山下公園スイムエリア	
12:30 頃	スイム TO デブリーフィング	山下公園スイムエリア	
12:40 頃	スイムパート解散	山下公園スイムエリア	
12:40 頃-	昼食	山下公園 KnTU テント	
-14:30 頃	他パートの応援	(各ポジション)	スイムパートの業務終了後、他パートの応援をお願いする場合がありますので、ご協力いただけますようお願いいたします
14:30 頃	解散	山下公園 KnTU テント	

## 2. 競技カテゴリー

カテゴリー	スイム	制限	備忘録
エイジバラ	TRI-1	0.75km (1 周)	3 5 分
	TRI-2~6	0.75km(1 周)	同上
スタンダード	1.5km(2 周)	1 周目：2 2 分 3 0 秒	
リレー	1.5km(2 周)	2 週目：4 5 分	
スプリント	0.75km (1 周)	2 5 分	

## 3. コースマップ

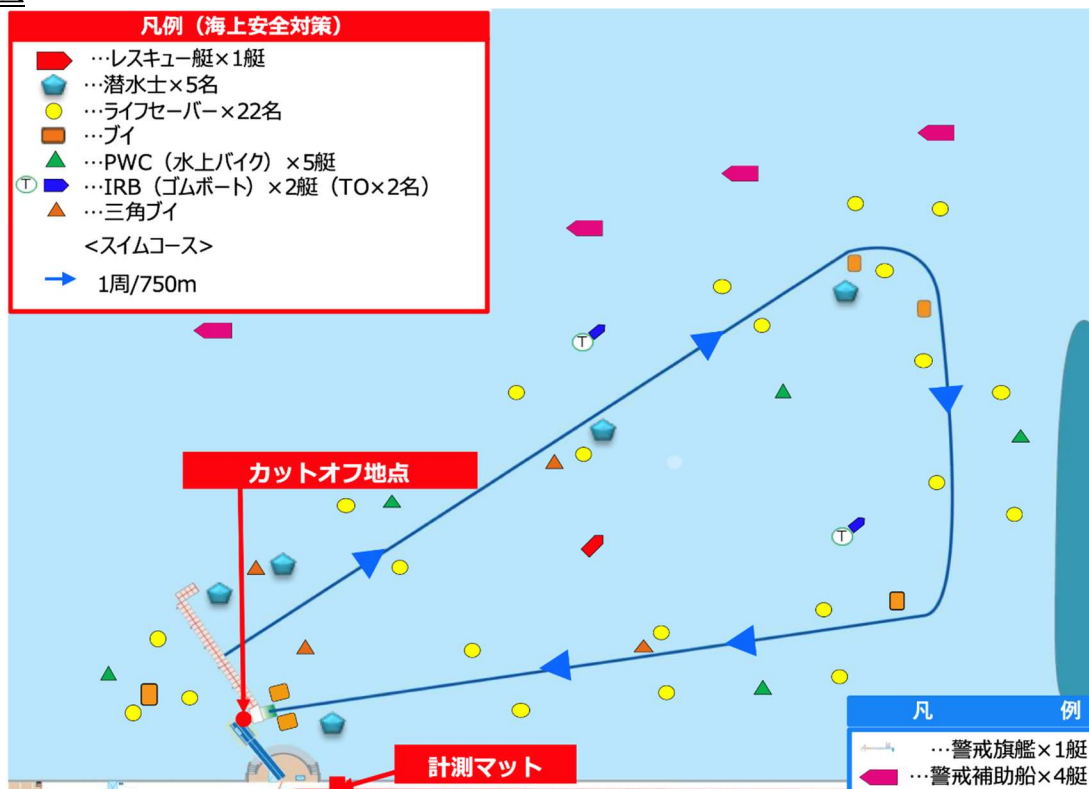


### ・試泳エリア



※エイジバラの試泳はスタートエリア（スタート地点）。

・海上配置



4. TO配置 (総勢：14名体制)

No	エリア・役割	職位	名前	無線	トラメガ	備考
1	全体統括	C	富永充昭	○	○	マイク式腰にスピーカ
2	ポンツーン・通路/試泳 IN	SC	亀村一郎	○	○	マイク式腰にスピーカ
3	↑		松本明子	—		SEA 後 (想定9時半以降)
4	ポンツーン・試泳 OUT・通路	SC	押木雅朋	○	○	マイク式腰にスピーカ
5	↑		石井なおみ	—		
6	↑		今井一則	—		SEA 後 (想定9時半以降)
7	スタート	SC	山田和彦	○	○	ホーン
8	↑		小池昌樹	—		iPad/スピーカ/置時計
	周回管理・情報連携・記録		富永兼任	—		マイク式腰にスピーカ
9	↑		鷺塚浩二	—	○	
10	↑		松田光太	—		SEA 後 (想定9時半以降)
11	安全・情報連携・記録	SC	元嶋直子	○		氷川丸側リタイヤ管理
12	↑		仙台椎良	—		氷川丸側リタイヤ管理
13	水上 (安全・情報連携)	SC	岡部哲夫	○		救助船(IRB)
14	↑		水野真之	○		救助船(IRB)

※救助船担当は防寒対策&濡れても良いものを着用してください

## スイムエリア TO ポジション概要

ポジション	概要	備品等
試泳 IN	★召集エリアから選手が移動してくるので選手をスムーズに試泳へ誘導（タイムチャート確認（多少早めの入水は可）★スイムスタートと同様に3人／5秒（s）毎のローリングスタート★試泳者監視	ごみ箱
試泳 OUT	★試泳後の選手をスムーズに待機エリアに誘導。★必要により試泳後の選手引き上げサポートも行う★スキップ希望者申告時、アンクルバンドを回収し、スキップスタート地点側に無線で連携し引き取って頂く	予備 swimcap 黒マジック, アンクル回収袋
待機エリアからスタート前導線	★選手を3人（横並び）でスタート線まで誘導と整列★各ウェーブスタート時間（オンタイムを意識し）とポンツーン上の重量注意（ぐらつき、沈み）	
スイムスタート	★オンタイムスタートを意識し選手をスタートさせてください★大会側（iPad） or 貸与携帯を使用し3人／5秒（s）毎のローリングスタートを間隔音で選手をスタートさせてください	iPad/スピーカー スタートホーン 置き時計
周回、リタイア、制限時間オーバー、DNF	★選手への周回、フィニッシュへの誘導★制限時間オーバー（足切り）、リタイア、DNF対応（選手のアンクルバンド写真撮影→LINEへ送信）★リタイア者の介護と召集エリアまでの誘導★リレー参加選手のスイムリタイア、制限時間オーバーはトランジ担当者へ無線連絡&LINE	双眼鏡
氷川丸側 TO	★主にリタイア選手の引き上げサポート★アンクルバンド回収→グループ毎に写真撮影しLINEで送信★救護チームへの引き渡し（必要に応じて経過は本部へ連絡）★海上に残っている選手の確認	双眼鏡
船上TO	★制限時間オーバー選手をライフガードに連絡、引き上げ★水上での選手監視（泳ぎが不安定な選手に声掛け、休憩、リタイア促し）	

## 5. 全体の業務

1. 選手を落ち着かせるような誘導を心掛けてください
2. 危険もしくは競技続行が困難と判断した場合はお声がけして状態確認をお願いします
3. 選手の状態確認とアンクルバンド回収・写真撮影・Gr-LINEでの報告をお願いします
4. 津波の可能性がある場合、ホテルニューグランドへ避難と誘導をお願いします
5. 過去のスイム救助訓練の動画です。予習/復習でご確認をお願いいたします

<https://youtu.be/DUHjTiMRnnk>

## 6. タイムテーブル

G	W	Check-in	Warm up	START	Cate.	BIB No.	人数	1 周目制限	2 周目制限	cap
TRI	TRI	06:45 07:00	07:00 07:15	<b>07:15</b> (一斉)	TRI 6	61-64	4	35' :	-	グリーン
↑	↑	↑	↑	<b>07:20</b> (一斉)	TRI 1 TRI 2 TRI 3 TRI 4 TRI 5	11 21-27 31-35 41-43 51-53	1 7 5 3 3	35' :	-	レッド イエロー グリーン
A	1	07:20 07:35	07:50 08:10	<b>08:00</b>	M30-34 M35-39	1001-1135	135	22'30" :	45' :	ホワイト
↑	2	↑	↑	<b>08:06</b>	M40-49	1201-1336	136	↑ :	↑ :	グリーン
↑	3	↑	↑	<b>08:13- 08:20</b>	↑	1401-1536	136	↑ :	↑ :	レッド
B	4	08:25- 08:40	08:55- 09:10	<b>09:05</b>	M-19 M20-24 M25-29	2001-2070	70	↑ :	↑ :	ピンク
	5	↑	↑	<b>09:11</b>	M55-59	2101-2267	167	↑ :	↑ :	ブルー
	6	↑	↑	<b>09:18- 09:23</b>	M60-64 M65-69 M70-74 M75-79 M80-	2301-2460	160	↑ :	↑ :	イエロー
C	7	09:25- 09:40	09:55- 10:12	<b>10:05</b>	M50-54	3001-3106	106	↑ :	↑ :	オレンジ
	8	↑	↑	<b>10:10</b>	↑	3201-3305	105	↑ :	↑ :	ホワイト
	9	↑	↑	<b>10:15</b>	F40-	3401-3510	110	↑ :	↑ :	ピンク
	10	↑	↑	<b>10:20- 10:23</b>	F-39 RelayFem RelayMix RelayMen	3601-3639 3701-3706 3801-3817 3901-3917	39 6 17 17	↑ :	↑ :	ブルー
D	11	10:30- 10:45	11:00- 11:12	<b>11:10</b>	Female RelayFem RelayMix RelayMen	101-156 201-202 301 401-402	56 2 1 2	25' :	-	グリーン
	12	↑	↑	<b>11:12</b>	M55-59 M60-69 M70-	501-584	84	↑ :	-	ピンク
	13	↑	↑	<b>11:15</b>	M40-49	601-639	39	↑ :	-	ホワイト
	14	↑	↑	<b>11:17</b>	M50-54	701-737	37	↑ :	-	ブルー
	15	↑	↑	<b>11:19- 11:21</b>	M-19 M20-29 M30-39	801-847	47	↑ :	-	オレンジ

※スイム招集からの送り出し時刻はスイム招集資料を参照（上記**試泳開始の2-4分前**）

※リレー選手のDNFはトランジションへの無線連絡が必要（詳細は別記載）

## 7. スイム競技のルール

### ■ 競技規則

- JTU (日本トライアスロン連合) 競技規則 及びローカルルールを適用して実施する
- スタート方式は、カテゴリごとに下記とする

カテゴリ	スタートプロトコル
エイジパラ	<b>ウォーターインスタート</b> ※全選手がポンツーンから海に入り、ポンツーンに掴まって一斉スタート(07:15/7:20 スタート)
スタンダード /リレー /スプリント	<b>ローリングスタート</b> <u>※5秒ごと3名ずつスタートする。</u> ※マットを通過した時点で計測開始とする

- 各種目における周回数は選手自身が責任をもって管理し、競技する。周回不足は DNF とする

### ■ 制限時間 (スイム)

- 各カテゴリにおいて、下記の制限時間とする。

カテゴリ	距離	制限時間
エイジパラ	0.75km (0.75km x 1 周)	・ <b>スタートから 35分</b> ※ 25分経過時点(07:45)でまだスイムフィニッシュしていない選手がいる場合、その選手がしっかり泳いでいて安全性に問題がない場合は、35分(7:55)までスイム続行可能とする
スタンダード	1.5km (0.75km x 2 周)	<b>&lt;1 周回目&gt;</b> ・ 各グループ最終選手スタートから <b>22分 30秒</b>
リレー		<b>&lt;2 周回目&gt;</b> ・ 各グループ最終選手スタートから <b>45分</b>
スプリント リレー	0.75km (0.75km x 1 周)	・ 各グループ最終選手スタートから <b>25分</b>

## 8. 業務詳細・留意事項

### ・ 共通事項

#### ■ 連絡体制

DNS/DNF/スイムスキップの連絡について、LINE グループを作成して情報共有します。

LINE グループには、スイムパート及び、情報が必要な各関連パート・部門のメンバーを登録する

- ✓ スイム ⇒ CTO、SCTO、及び TO(情報管理が必要なメンバー)
- ✓ **スイム招集** ⇒ CTO、SCTO
- ✓ **トランジション** ⇒ CTO、SCTO、及び TO(スキップ対応者等)
- ✓ **本部**    ✓ **メディカル**    ✓ TL、TD、aTD、HR、aHR

#### ■ リタイア選手対応

(1) DNF 選手の下記を確認する

- a) レースナンバー                      b) DNF 時刻                      c) DNF 理由                      d) メディカル対応の要否

⇒DNF 理由例：怖くなった。足が吊った。腹痛。Etc..

(2) DNF 選手のアンクルバンドを回収する

(3) 速やかに、上記確認した内容を本部へ連絡する

無線を所持している TO に連絡を託す等

(4) DNF した選手へ、会場への戻り方をご説明する

(5) メディカル対応が必要な選手は、メディカルへ引き渡してください

(6) リレー選手がリタイアした場合は、トランジションへ 無線でレースナンバーを伝達してください

(トランジションエリアからバイクパートの選手がスキップスタートする為)

(7) エリア毎に担当チームがアンクルバンドをグループ毎に整理し、番号が見えるように写真撮影してください

■ スキップ対応

試泳後のスキップ受付はスイム招集 T0 がポンツーンまで来て対応して下さります。

もし、タイミングが悪くスイム招集 T0 が居られない場合、遮蔽缶と T0 が来るまでこちらで引き留め、無線連絡する

■ 給水対応

給水対応は実施なし（給水はありません）

⇒給水が必要な選手に対してはメディカルに連携し、メディカルから給水対応するようお願いします

■ 落とし物対応

落とし物は各 T0 が回収し、競技終了後に CT0 経由で大会本部へ届ける

・ 試泳

No	業務	主担当者	業務詳細・留意事項
1	ポンツーン・通路/ 試泳エリアの設営		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンツーンの通路に、カラーコーンを用いて「試泳」「スイムアップ」の導線を区分けする（最大20コーンで実施する事）</li> <li>・メガネ預かり所をポンツーン出口に設営（試泳側から置き、スイムアップ後に取りれる様にする）</li> <li>・マスク廃棄用のゴミ箱を設置する</li> </ul>
2	ポンツーン通路誘導		ウェーブ毎にポンツーン移動の時間を確認し、時間になったら順番に試泳エリアへ移動するよう誘導する
3	試泳タイミングのコントロール		<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムテーブルに従って、試泳のタイミングをコントロールする</li> <li>・5秒間隔で3名ずつのローリングスタートで試泳スタートさせる</li> <li>・入水時には足から入るよう指示する(頭からの飛び込み×)</li> <li>・試泳後のポンツーン待機人数に注意し試泳 OUT 側の TO と連携して選手の試泳スタートペースをコントロールする</li> </ul>
4	マスク回収	試泳 IN	マスク装着者は試泳直前にゴミ箱へ入れてもらう
5	パラ試泳について		<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラエイジスタートエリアで実施。スタート開始時間前に余裕をもって終了しスタートに臨む旨伝える（<b>上がる場合は SEA 又は試泳 OUT</b>）</li> <li>・試泳後からスタート前迄はスイムスキップ宣言を可能とします</li> </ul>
6	スイムスキップ制度	試泳 OUT	<p>スイム受付時に加えて試泳後のスキップも可とする。試泳後にスキップ申請があった場合、ポンツーン迄来られたスイム招集 T0 が担当。</p> <p>スイム招集 T0 が不在の場合、試泳 OUT 担当 TO が 1) 受付、2) スイム招集 T0 へ無線連絡、3) アンクルバンド回収、4) スイム招集 T0 へ選手と内容を引き継ぐ</p> <p>※1：パラ選手の場合、T1 まで誘導できるメンバーをその時の状況で編制</p> <p>※2：スタートラインのセンサーに触れない様、スイム招集 TO を待つ</p>

・ ポンツーン・スタート

No	業務	主担当者	業務詳細・留意事項
1	ポンツーンエリアの設営		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンツーン上にカラーコーンを設置し、選手導線を設営する</li> <li>・タモにて浮遊物撤去。竹ぼうきで清掃</li> <li>・SEA でプレトランジション設営された内容で導線影響ないか確認</li> </ul>
2	水温・気温計測	CT0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水温/気温を計測し、TD へ連絡する</li> </ul> <p>&lt;測定時刻&gt;</p> <p>06:30 スイムコース3か所にて計測</p> <p>07:00,08:00,09:00,10:00,11:00 ポンツーン上にて計測</p>



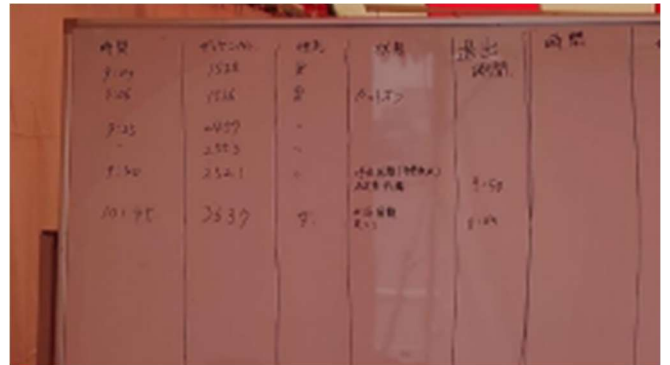
3	試泳監視	試泳 In/Out	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試泳している選手に異常がないか監視する</li> <li>・試泳が終了して、ポンツーンへ上陸する選手を誘導する</li> <li>・試泳を2周回しないようコントロールする</li> </ul>
4	選手待機場所 コントロール		<ul style="list-style-type: none"> <li>・試泳終了後にポンツーン上でスタートを待っている選手を3名横列で整列させてコントロールする</li> <li>・スイムキャップにNoシールがない選手がいたら、マジックで書いてもらう。破れた等は予備を確保/持参しておく</li> <li>・ポンツーン上に待機する選手はポンツーンの状態（揺つき、沈み）などを見ながらコントロールする</li> <li>・人数調整が必要な状態の場合、試泳スタートのTOと連携して選手の試泳スタートペースをコントロールする</li> <li>・ショートカット防止：「1つ目の樽ブイの後、氷川丸の船首にある程度泳いでから2つ目の樽ブイに向かってください」と伝える。今後の予定では樽ブイに数字を振る予定。当日数字が記載されている場合は数字にそって進む旨も伝える（1→2→3の順）</li> <li>・再度確認事項：アンクルバンド<b>装着</b>、スイムブーツ<b>装着不可</b>、<b>周回数</b></li> </ul>
5	スターター		<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置するコーンとコーンバーは各3個使用</li> <li>・入水は足からとなります。スタート、周回時の飛び込み禁止</li> <li>・タイムテーブルに従って、スタートのタイミングをコントロールする</li> <li>・各グループの最初の選手のスタート時に、スタートホーン（来賓者以外の場合）でスタートの合図を実施する</li> <li>・5秒間隔で3名ずつのローリングスタートで試泳スタートさせる（iPadにアプリを入れて5秒間隔で電子音を発生させる）</li> <li>・各ウェーブ最終選手が入水した時刻を周回管理に連携する</li> </ul>
6	周回管理		<ul style="list-style-type: none"> <li>・周回ミスにならないように声掛けを行う（キャップ色を意識）</li> <li>・1周回目を終えた選手が2周回目に入るとき、入水位置まで選手を誘導する</li> <li>・入水時には足から海へ入るよう指示する（頭からの飛び込みは禁止）</li> <li>・他の選手やローリングスタートの選手と接触しないよう誘導する</li> <li>・体調不良と見て取れる選手に対しては2周目の入水前に必ず声がけをする</li> <li>・疲労が激しい選手、具合の悪そうな選手についてはメディカルスタッフに対応を依頼する</li> <li>・疲労が激しい選手については、継続 or リタイアの意思確認を行う</li> <li>・継続の意思があり、継続できる状態であれば競技を継続させる。それ以外の選手はリタイア勧告を行う</li> </ul>
7	周回時タイムカット /制限時間オーバー （足切り）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・選手には丁寧に状況を伝え、その後のレース継続が出来ない事を勧告してください。制限時間は別箇所に記載</li> </ul>
8	スイムアップ選手誘導		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スイムアップシトランジションへ向かう選手を誘導する</li> </ul>
9	リタイア対応 （ポンツーン側）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・救助船で搬送されてきた要救護者とリタイア者の対応を行う</li> <li>・要救護者をメディカルチームへ連携する</li> <li>・選手からアンクルバンドを回収する</li> <li>・リレー選手がリタイアした場合は、レースナンバー情報を無線でトランジションへ連絡し試合継続連絡を行う。その後LINEへ共有</li> </ul>
10	アンクルバンド管理 （ポンツーン側）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンクルバンドをグループ毎にまとめておく</li> <li>・フィニッシュ方面、周回の方岐点に箱を置き、上記を入れる</li> </ul>
11	リタイア選手情報共有 （LINE）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・リタイア選手のアンクルバンドをグループ毎に整理して管理する</li> <li>・各グループのスイム競技が終了後、アンクルバンドの番号が見える様に写真を撮影し、LINEグループへ共有する</li> </ul>
12	プレトランジション撤収	周回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラ終了後にエイジの整列に支障をきたす為SEAと協力し撤収を行う</li> </ul>

・水上・氷川丸側バルコニー

No	業務	主担当者	業務詳細・留意事項
1	選手の安全管理 (救助艇/IRB)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平時は第1ブイ→第2のショートカット監視を行う</li> <li>・危険な(溺れそうな)選手の監視/声掛け/リタイア勧告を行う</li> <li>・リタイア勧告した選手を引き上げ、バルコニーへ搬送する(原則として氷川丸側へ搬送する)※緊急の場合はポンツーンへ搬送される可能性がある。搬送先については、監視船のライフセーバーと連携して決める</li> <li>・要メディカル対応の場合は無線連絡を行い、陸上の体制を整える</li> <li>・リタイア選手を、陸上へ引き渡す</li> <li>・各グループの最終選手スタートから制限時間を越えた選手を引上げる</li> </ul>
2	選手の安全管理 (陸上から)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・選手スタート後、陸上より選手の監視を行う。(双眼鏡等を使用し、泳ぎ方や状態等を判断)</li> <li>・危険な選手を発見した場合は、近くのライフセーバー、救助艇へ連絡し対応してもらう</li> </ul>
3	リタイア対応 (氷川丸側バルコニー)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・搬送されてきた要救護者とリタイア者の対応を行う</li> <li>・要救護者をメディカルチームへ連携する</li> <li>・選手からアンクルバンドを回収する</li> <li>・<b>リレー選手がリタイアした場合は、レースナンバー情報を無線でトランジションへ連絡し試合継続連絡を行う。その後 LINE へ共有</b></li> <li>・<b>T0 要員不足の事態は無線連絡で応援を(白波とかで警戒する)</b></li> </ul>
4	リタイア選手情報共有 (LINE)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディカルテント内のホワイトボードで救護者情報の管理が行われるので、アンクルバンドと照合する(必要に応じてホワイトボードへの記載も行う)</li> <li>・リタイア選手のアンクルバンドをグループ毎に整理して管理する</li> <li>・各グループのスイム競技が終了後、アンクルバンドの番号が見える様に写真を撮影し、LINE グループへ共有する</li> </ul>



LINE グループへ送ったアンクルバンド写真例 (上部にグループ名を記した紙と一緒に撮影を。紙がない場合は不要)



氷川丸メディカルテント内のホワイトボード



氷川丸メディカルテント内



氷川丸リタイア選手引揚場所

## 9. 備品リスト

No	備品名	数量	備考
1	スタートホーン	2	
2	iPad	1	・5秒インターバル電子音発信用 ・インターバルタイマーアプリを入れて使用 (アカウントがない為過去アプリは入れられないとの事)
3	トラメガ	5	マイク・腰スピーカータイプ
4	プラカード	5	(2年連続で未使用とのこと)
5	プラカード用竿・看板	5	(2年連続で未使用とのこと)
6	テーブル	2	メガネ預かり用(風で飛ばないように養生テープも) 2年連続 配置なく、他から借りた模様
7	椅子	10	リタイア用。ポンツーン5、氷川丸5
8	ゴミ袋(大)	15	ポンツーン10、氷川丸側5
9	ゴミ箱	2	マスク、アンクルバンド回収用(ポンツーン)
10	ビニール袋(小)	25	ポンツーン15、氷川丸10
11	マジック	3	ポンツーン2、氷川丸1
12	コーン	25	(2年連続で依頼数不足とのこと。エリート共用で撤去か)
13	コーンバー	25	(2年連続で依頼数不足とのこと。エリート共用で撤去か)
14	気温・水温計	1	
15	竹ぼうき	1	
16	タモ	3	
17	双眼鏡	2	ポンツーン1、氷川丸1
18	予備のスイムキャップ一式	各色	赤2、黄橙各4、桃白青緑各6(最低2枚想定数)
19	置時計(秒針付き)	1	スタートで使用(計測会社と時間確認をする)

## 10. サイネージ

No	サイネージ	数量	設置場所	No	サイネージ	数量	設置場所
1		2枚	・ポンツーン出口 (選手競技導線)	3 4		各5	・選手導線コントロール 用に、各所に掲示
2		2枚	・メガネ預かり所	5	スイム スキップ 受付	2?	試泳OUTにて

※図柄・デザインは事務局にて最終決定されるため、変更される可能性があります。